

大島海洋国際高校 硬式野球部

大島海洋国際高校野球部
顧問 増子良太



○ 令和元年度 活動報告新聞(第1号)

1、第101回 全国高等学校野球選手権大会 東東京大会 (7月)

今年の7月に行われました、第101回全国高等学校野球選手権大会 東東京大会について結果をご報告させていただきます。

大島海洋国際として夏の大会初勝利を目指して、自由ヶ丘学園と戦いました。初回に先制点を許すも、すぐに取返しました。その後も相手投手の制球の乱れについて、点数を重ねていきましたが、追加点が取れそうな場面で回ってくるのが、ことごとく1年生…。思ったように点数が取れずに、ペースを掴めきれずに試合は進んでいきました。すると、中盤にビックイニングを作られて逆転。7回に追いつくも、下級生のエラーから失点。しかし、以前であれば、ここからチーム全体が崩れてコールド負けになっていたと思います。そうならなかったところに、このチームの、特に中心となった3年生たちの大きな成長を感じました。そして、1点ビハインドで迎えた9回。2アウト2ストライクまで追い詰められましたが、ここでなんと右中間を破るランニングホームランが飛び出し、試合が振り出しに。球場は1回戦ながら異様な盛り上がりを見せていました。その雰囲気は海国に味方したのか、相手のミスもあって2アウトでランナー3塁の状況を作るまでに至りましたが、相手の粘りに負けて逆転ならず。ここで全体的に気持ちの糸が切れてしまったのかもしれませんが、9回裏、先頭打者の大飛球を外野が捕れずに3塁打に。次の打者は抑えたものの、最終的に前に守らざるを得なかった外野の後ろに打球が落ち、悔しいサヨナラ負けとなりました。

この3年生の代はもともと人数が多かったですが、感謝を体現できない、自分勝手な行動をする者の集まりで、ここまでチーム力のない組織は私も見たことがありませんでした。そうした部分の指導に耐えられず部を去った者もいましたが、それを乗り越えた6名の3年生たちは本当に驚くほど変わりました。私が見た中で最も人間的な成長が大きかった代だといえます。本当によく頑張った！お疲れ様！残りの学校生活も野球部で培ってきたものを生かし、自分の進路実現に向けて努力を重ねてください。また3年生の保護者の皆様におかれましては、これまで野球部の活動にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。今後とも海国野球の応援よろしくお願い致します。



SCORE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
大島海洋国際	0	1	3	0	0	0	2	0	1	7
自由ヶ丘学園	1	0	0	0	4	0	2	0	1×	8

大島海洋国際：森,小林,森-清水村
自由ヶ丘学園：萩原,柳沢-柳沢,柳原
本塁打：清水村(大)
三塁打：森(大) 柳沢,萩原(自)
二塁打：鶴田(自)

**ご声援ありがとうございました！
今後ともよろしくお願ひします！！**